

伊勢湾貧酸素情報（第 6 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、湾奥部から湾中央部にかけて 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

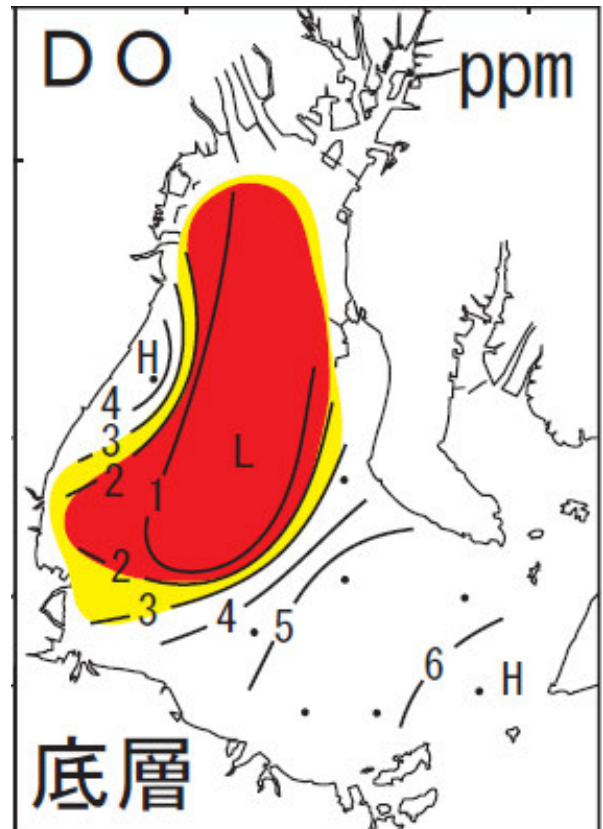
10月8日の調査結果

10月8日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 22.1～23.1℃、10m で 22.3～22.8℃、底層で 21.6～22.8℃の範囲にあり、表層は平年並からやや高め、10m と底層では平年並となっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 5.6～7.9ppm、10m で 3.9～6.3ppm、底層で 0.1～6.3ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低めから低め、10m と底層では平年並となっていました。

底層では伊勢湾の湾奥部から湾中央部にかけて 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されています。

表層と底層の水温差が小さくなってきているため、今後上下海水が混合しやすくなり、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図